Konica

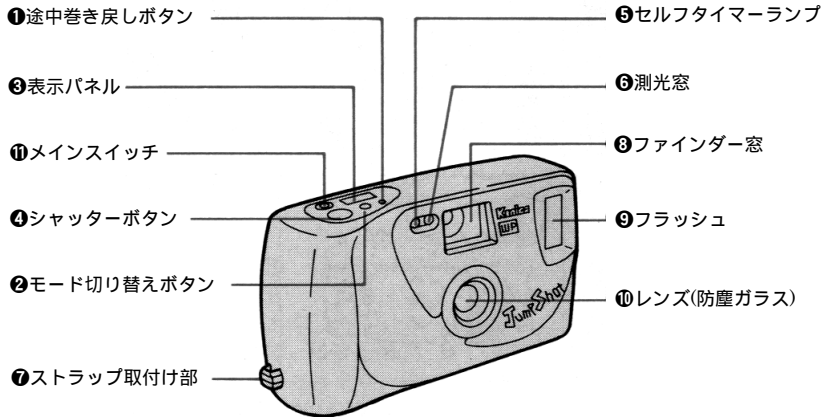
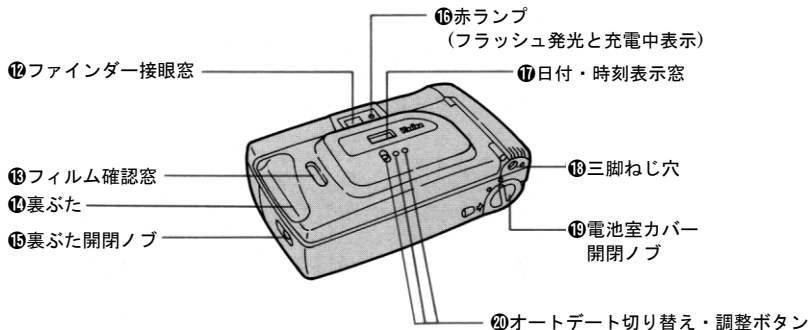
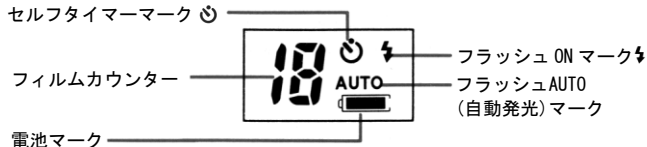
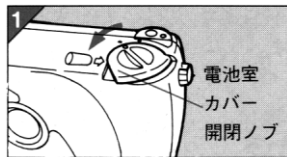
JumpShot

ご使用前に必ず
お読みください。

使用説明書

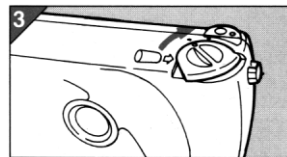
各部の名称

❶途中巻き戻しボタン
❸表示パネル
⓫メインスイッチ
❹シャッターボタン
❷モード切り替えボタン
❼ストラップ取付け部
❺セルフタイマーランプ
❻測光窓
❽ファインダー窓
❾フラッシュ
❿レンズ(防塵ガラス)
Konica
WP
JumpShot

⑫ファインダー接眼窓
⑬フィルム確認窓
⑭裏ぶた
⑮裏ぶた開閉ノブ
⑯赤ランプ
（フラッシュ発光と充電中表示）
⑰日付・時刻表示窓
⑱三脚ねじ穴
⑲電池室カバー
開閉ノブ
⑳オートデート切り替え・調整ボタン

1. 電池を入れてください

電池室カバーの開閉ノブをOPENの方向に回し、電池室カバーの ● 印とOPEN ● 印を合わせて、電池室カバーを外します。

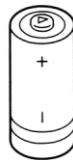
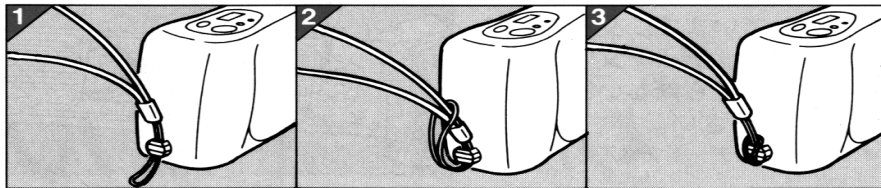
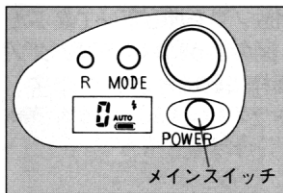
＊電池交換の前に水滴、砂等の汚れを落としてから取り扱ってください。

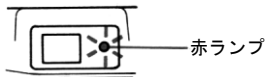
カメラ底面の＋、−の表示にしたがって電池を入れます。

＊使用電池はリチウム電池（CR123A、DL123A:3V）1本です。

電池室カバーをはめ、押さえながら、CLOSEの方向に回し、電池室カバーの ● 印とCLOSE ● 印を合わせてロックします。

電池の交換時期

(1)　電池の容量は充分です。

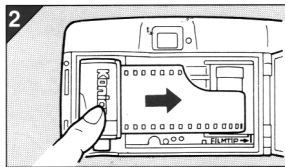
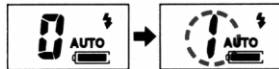
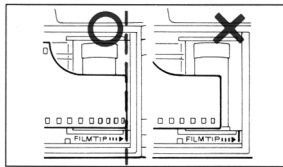
(2)(3) 電池の容量が無くなりました。
電池を交換してください。

ストラップの取付け方

2．電源をONにします

メインスイッチを押すと電源ONになり、表示パネルに▬、⚡AUTO、0（フィルムカウンター）が表示されます。

＊メインスイッチをONにしたとき、赤ランプが点灯した後消えます。点灯の間は充電中なのでシャッターはきれません。

＊カメラを使用しないときは、メインスイッチを押して、電源OFFにしてください。

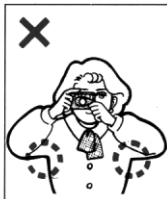
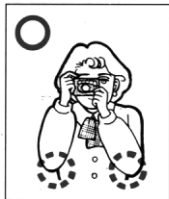
3．フィルムを入れてください

裏ぶた開放ノブを押し下げ、裏ぶたを開け、フィルムを入れます。

＊フィルムを入れる前に水滴、砂等の汚れを落としてから取り扱ってください。

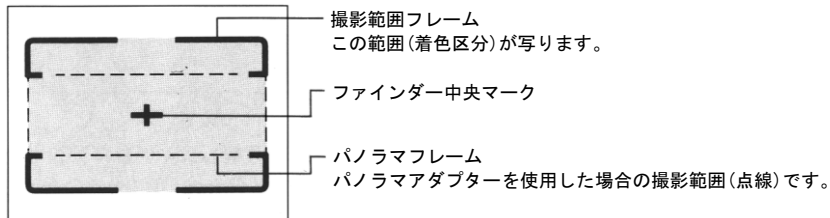
＊防塵ガラスが汚れたときは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。

フィルム先端をカメラ内部のFILM TIP ▮▮▮▮▶| マークに合わせ、裏ぶたを閉じ、シャッターボタンを1回押すと、フィルムカウンターに“1”が出ます。

＊フィルムが送られていないときは“0”のまま点灯します。

4．正しい構え方

カメラを両手でしっかり持ってカメラぶれを防ぎましょう。

カメラの背部を頬に当て、両ひじを軽くしめると安定します。両ひじを開くとカメラぶれをしやすくなります。

＊指や毛髪などがレンズ、測光窓、フラッシュ部をじゃましないように気をつけましょう。

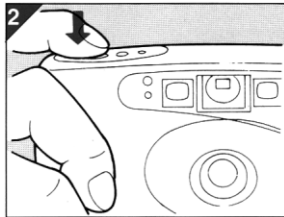
タテ位置のフラッシュ撮影では、フラッシュを上に構えてください。
フラッシュを下にして発光すると写真が不自然になります。

ファインダーの見方

フィルムは…

* DXコード付きの35mmフィルム(感度ISO100, 200, 400)をご使用ください。DXコードのないフィルムは、すべてISO100に設定されます。
* コニカカラーフィルムのご使用をおすすめします。

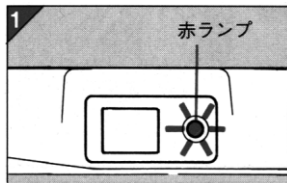
5．基本撮影　①自動フラッシュ撮影 ϟ AUTO

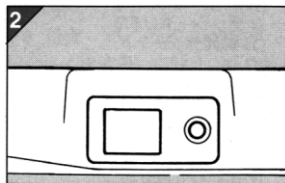
撮影前にメインスイッチを押して電源をONにしてください。

ファインダーをのぞいて写る範囲を確認してください。

シャッターボタンを押して撮影します。

＊撮影が終るとフィルムが自動的に１コマ巻き上げられ、フィルムカウンターの数字が１つ加算されます。

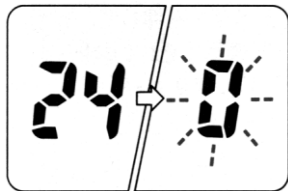
日中撮影距離

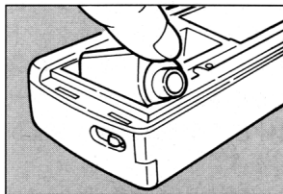
暗いときはフラッシュが自動発光します。

シャッターボタンを押して、赤ランプが点灯したときは、フラッシュ撮影されます。

フラッシュ撮影の距離		
	ISO100/200	1.5m～3.0m
	ISO400	1.5m～6.0m

フラッシュ撮影が終わると、赤ランプが点灯した後消えます。消灯を待って次の撮影をしてください。

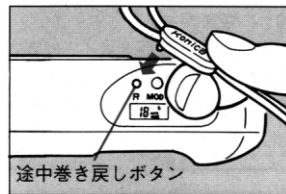
＊赤ランプ点灯の間は充電中なのでシャッターがきれません。(赤ランプはフラッシュ発光表示と充電中表示を兼ねています。)

②フィルムの取り出し方

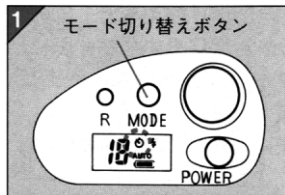
フィルムが最後になると、自動的に巻き戻されます。

フィルムを全部撮り終えると、自動的に巻き戻しが始まります。
巻き戻しが終わるとフィルムカウンターが“0”になり点滅します。

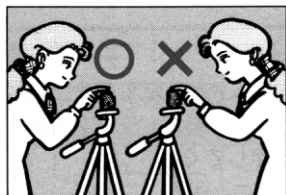
＊巻き戻し中はフィルム枚数計が減算します。

フィルムカウンターの“0”点滅を確認後、裏ぶたを開けフィルムを取り出してください。

＊裏ぶたを開ける前に水滴、砂等の汚れを落としてから取り扱ってください。

撮影途中での巻き戻し

フィルムを途中で巻き戻すときは、途中巻き戻しボタンをストラップ調整具の突起部で押してください。

6．応用撮影　①セルフタイマー撮影 ꀀ

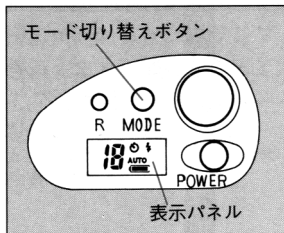
記念撮影で自分も画面に入ることができます。

モード切替えボタンを押して、表示パネルのモード表示を ꀀ（セルフタイマーモード）にします。

被写体に向けてシャッターボタンを押します。セルフタイマーがスタートし、セルフタイマーランプが点灯の後点滅し、約10秒後にシャッターがきれます。（暗いところではフラッシュが自動発光します）

＊カメラのうしろ側からシャッターボタンを押してください。カメラの前からでは正しい露出が得られません。

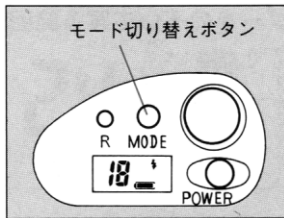
＊作動中にキャンセルしたいときは、メインスイッチを押し、電源OFFにしてください。

＊セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚等でカメラを固定してください。

＊撮影終了後、自動的に⚡AUTOモードに戻ります。

モードの切替え操作

モード切替えボタンによって、セルフタイマー撮影、日中フラッシュ撮影ができます。
モード切替えボタンを押す毎に、表示パネルのモードは順次表示され循環します。

②日中フラッシュ撮影(フラッシュ ON) ϟ

逆光や室内窓際の人物、くもりや日陰の人物を明るくきれいに写します。

フラッシュ使用

フラッシュなし

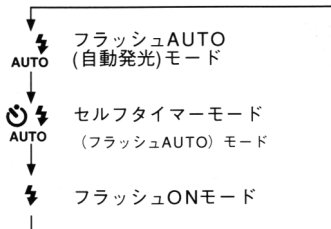
モード切替えボタンを押して、表示パネルのモード表示をϟ(フラッシュONモード)にします。

被写体に向けてシャッターをきれば、明るい場所でもフラッシュ撮影ができます。

＊撮影終了後、ϟ AUTOモードに戻してください。

AUTO フラッシュAUTO
(自動発光)モード

AUTO セルフタイマーモード
(フラッシュAUTO) モード

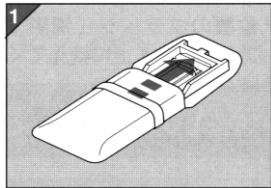
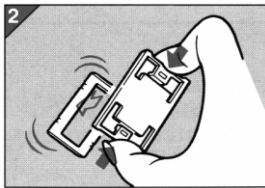
フラッシュONモード

* メインスイッチをONにするとAUTOモードに設定されます。モードは、一度設定するとそのモードで撮影を続けられます。撮影終了後、AUTOモードに戻しましょう。

* モードは撮影終了後、自動的にAUTOモードに戻ります。

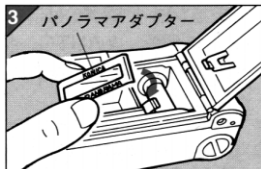
パノラマ撮影

パノラマアダプターの取付け方

付属のコニカパノラマアダプターを取付けることによって、広がりのある風景などを収めることができダイナミックな撮影が楽しめます。

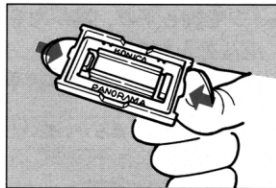
＊パノラマアダプターは、必ずフィルムを入れる前に取付けてください。
＊装てんしたフィルムは、すべてパノラマ写真になります。
＊パノラマ撮影では、日付は写りません。

1. パノラマアダプターをケースから取り出します。

2. ホルダーの左右を指で押すと、パノラマアダプターが外れます。

現像・プリントは…

＊ 現像・プリントをご依頼になるときは必ず、「パノラマシール」をパトローネ(フィルムの容器)に貼り、「コニカ百年プリント“パノラマサイズ”」とご指定ください。ご指定のない場合は、一般のサービスサイズでプリントされることがありますので、ご注意ください。（画面の上下に黒い帯が写し込まれることがあります。）

3. 裏ぶた開放ノブを押し下げて裏ぶたを開け､図のようにパノラマアダプターを画枠に取付けます。
   ＊パノラマアダプターを正しい向きで、画枠に合わせて取付けてください。

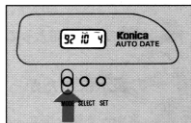
フィルムを入れ、ファインダーのパノラマフレーム内で構図を決め、撮影してください。

＊フィルムの入れ方、正しい構え方、基本撮影から応用撮影までのすべての操作は一般撮影と同じです。

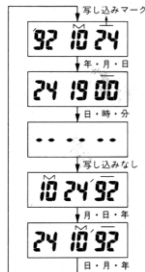
パノラマアダプターの収納方法

カメラから外してホルダーの上にのせ、左右を指で押すとパノラマアダプターが固定されます。

オートデート

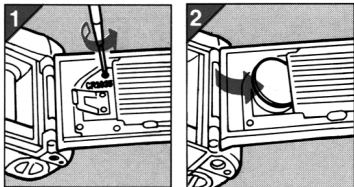
このカメラのオートデートは、2019年12月31日までの日付・時刻を記憶し、自動的に画面に写し込むことができます。

表示モードの切替え

MODEボタンを押して、年月日・日時分・写し込みなしのどれかを選びます。

日付・時刻の修正

1) MODEボタンで日付(時分)を表示した後、SELECTボタンを押して、修正する日付(時分)を点滅させます。
2) SETボタンを押して日付(時分)を点滅のまま修正します。
3) SELECTボタンを押すと点滅が点灯になり、──のマークが現れて写し込みの状態になります。

＊分を修正した後SELECTボタンを押すと：が点滅します。
もう一度SELECTボタンを押して、写し込みの状態にしてください。

＊秒まで合わせるには、：の点滅時に時報に合わせてSETボタンを押します。さらにSELECTボタンを押して、写し込みの状態にしてください。

オートデート用電池の交換

リチウム電池（CR2025：3V）を使用しています。交換時期は約4年です。デート文字が見えにくくなったら新しい電池と交換してください。

＊電池交換後デートを修正してください。

おもな仕様

形式	レンズシャッター式固定焦点35mmカメラ
画面サイズ	24×36mm
レンズ	コニカ34mm F4.5（3群3枚）
シャッター	絞り兼用シャッター、電磁レリーズ、1/50・1/125秒（2速）
絞り	F8、F4.5（2段切替）
メインスイッチ	ボタンスイッチ　電源ON/OFF、液晶点灯セルフタイマー途中解除、30分後自動的に電源OFF
焦点	固定焦点式 撮影範囲:1.5m～∞
露出	ISO 100/200: F8、1/125秒（一般）、F4.5、1/50秒（フラッシュ） ISO 400: F8、1/125秒（一般）、F4.5、1/50秒（フラッシュ）
フィルム感度	自動設定（ISO 100/200、ISO 400）
ファインダー	アルバダ式透視ファインダー、ブライトフレーム、 ファインダー中央マーク、接眼窓脇にフラッシュ発光およびフラッシュ充電中表示
フラッシュ	低輝度時に自動発光するフラッシュマチック機構、 連動範囲：ISO 100で1.5m～3.0m、ISO 400で1.5m～6.0m 発光間隔：約4秒

セルフタイマー	電子式、作動時間：約10秒、セルフタイマーランプが約７秒点灯した後約３秒点滅、途中解除可能
フィルム給送	フィルム給送　電動式、シャッターボタン１回操作によるオートローディング、自動巻き上げ、フィルム終了で自動巻き戻し、巻き戻し後自動停止、途中巻き戻し可能
フィルムカウンター	順算式液晶カウンター
オートデート	液晶表示式デジタルウォッチ内臓、2019年までの年月日・日時分、写し込みなし・月日年・日月年の切替え可能
電池寿命	50%フラッシュ発光のとき：約20本以上（24枚撮りフィルム）
電源	リチウム電池（CR123Aまたは、DL123A：3V）１本、 オートデート用としてリチウム電池（CR2025:3V）１コ
生活防水	種類：　JIS保護等級４（防沫形） 意味：　いかなる方向からの水の飛沫を受けても有害な影響のないもの 試験方法：300mm～500mmの高さで鉛直から180度の範囲にじょろで10ℓ/minの水量を機材の外部表面積1m²あたり１分間で合計５分以上散水
大きさ・重さ	136.5×76.5×49mm、235g（電池別）

＊上記の性能については当社試験条件によります。
＊製品の仕様、外観は予告なく変更することがあります。
＊指定以外の電池は絶対に使用しないでください。